

平成 14 年 4 月 5 日
気 象 庁 予 報 部

配信資料に関する技術情報（気象編）第 104 号

－台風 72 時間進路予報の予報円の表示について－
(配信資料に関する技術情報（気象編）第 14 号、第 22 号関連)

気象庁では、台風の 72 時間進路予報を平成 9 年 7 月 1 日から実施してきました。72 時間進路予報の開始に際して、「配信資料に関する技術資料（気象編）」の第 14 号、第 22 号を通じて、72 時間予報円は表示せず、概略の地域名で表現していただくようお願いしてきました。

72 時間予報円を表示した資料を限定的に提供してきた船舶関係者や防災関係者等の特定ユーザーの利用においては、これまで特に混乱は見られていません。このことから、当初心配された一般の方に誤解や混乱等を与える可能性は少ないと考えられます。このため、これまでの「お願い」を見直し、6 月 1 日から必要に応じ 72 時間予報円を表示していただいでよいこととします。

これまで、台風解析・予報電文 (KFXCii RJTD : ii=70~75) の記述子 B19193 (予報部の有無及び表示指示フラグ) に対応するフラグデータについて最下位のフラグの値を 1 としてきましたが、6 月 1 日以降はこのフラグの値を 4 とします。また、配信資料に関する技術情報（気象編）第 14 号で示した台風解析・予報電文のフラグ表 B19193 は別紙の通りに改めます。

今後とも、台風予報の適切な解説に、ご協力をお願いします。

B19193

予報部の有無及び表示指示フラグ

フラグ	内 容
0	当該時間の予報部が存在しない。
1	当該時間の予報部有り。予報表示はしない。 この時刻の予報円、暴風警戒域、接線、中心×印は表示しない。
2	当該時間の予報部有り。 この時刻の予報円と接線を表示する。(暴風警戒域、中心×印は表示しない)
3	当該時間の予報部有り。 この時刻の予報円、中心×印、接線を表示する。(暴風警戒域は表示しない)
4	当該時間の予報部有り。 この時刻の予報円、接線、暴風警戒域を表示する。(中心×印は表示しない)
5	当該時間の予報部有り。 この時刻の予報円、中心×印、暴風警戒域、接線を表示する。
6	当該時間の予報部有り。 この時刻の予報円、中心×印を表示し、前の点から矢印で結ぶ。

例：VFLG = '440404'：12時間，24時間，48（45）時間，72（69）時間の予報部があり，当該時刻の表示をする。

注1）この電文から台風予報図を作成する際は，このフラグの指示に従っていただきたい。

注2）36，48，60，72に(33)，(45)，(57)，(69)と示したのは，日本時間6時、12時、18時、24時には24時間先までしか予報を行わないため、24時間予報より先の予報については3時間前発表の予報を（）内の時間予報として電文に記述する。